

ふじしま秋まつり つや姫の里の収穫祭

平成30年 10月28日(日)
午前10時～午後2時
鶴岡市藤島体育館

主なイベント
つるおか食の祭典2018
有名料理人による
地場産野菜スペシャル料理(販売)
地産地消給食メニュー試食
有機米の食べくらべ
キッズコーナー

J A庄内たがわ秋まつり
芋煮・つや姫おにぎりセット販売
KOMEKO(米粉)カフェ
収穫感謝餅つき大会(ふるまい)
直売コーナー

第29回日本藁文化大祭
藁工芸作品展示
藁細工づくり体験
他、書道パフォーマンス、チアダンス
お米クイズ・嵐リンピック・包丁研ぎ等

藤島芸術文化祭
10/26(金)～28(日)
藤島地域活動センター
※芸術発表会 28(日)
開演 午後1時

ふじしま音楽祭
11/3(土)文化の日
開演 午後1時
藤島地域活動センター

ふじしまの芸術の秋と音楽の秋も
ぜひお楽しみください!

主催：ふじしま秋まつり実行委員会
(お問合せ) TEL: 0235-64-2229 ふじしま観光協会内
共催：ふじしま観光協会・JA庄内たがわ藤島支所・鶴岡市・出羽商工会藤島支所
JA庄内たがわ藤島支所藁工芸部会・藤島芸術文化協会

ふじしま秋まつり「つや姫の里の収穫祭」が28日(日)、藤島体育館で開催されます。

「つるおか食の祭典2018」「JA庄内たがわ秋まつり」「日本藁文化大祭」の3つのまつりを合わせて、多彩なイベントで盛り上げられます。

3人の料理人による

地場産野菜スペシャル料理は、前売りチケット700円(限定100食)、当日チケット800円(限定50食)で、藤島産の「つや姫」と有機栽培「えだまめ」料理を楽しめます。

鶴岡北高校書道部「書道パフォーマンス」は10時15分から、餅つき大会は11時30分、13時

15分からの2回です。鶴岡市有機農業推進協議会の有機米食べ比べや、庄内風「芋煮」と新米「つや姫」のおにぎりセット(500円)、JA直売コーナーなど多彩です。

第29回日本藁(わら)文化大祭、藁リンピック、俵投げ大会などが開催されます。

感懐

其二

挙府皆渾吾独清
憂艱常至昇平莫
我懷鬱憤何由拓
投稿野詩心自晴

感懐

其二

府を挙げて皆渾り吾独り清めり
憂艱常に至り昇平莫し
我が懐い鬱憤何に由つて拓かん
野詩を投稿して心自晴る

城貞(藤の花)

今の政府は、皆汚れた行いが多く、貪欲で墮落している。私にはけがれない。心配なことや苦勞は、いつもさつそくやつてくる。世の中(世界)が平和におさまることは無いのだ。そんな訳で、私のふがいない沈む思いは、どうしたら晴らすことができるだろうか。それは、そまつな詩を民報に投稿することで、心が自然とはればれとして、すっきりとなることだ。

【絵を描く】 滅びゆくものの美

加藤貞雄(山王町/上平形出身)

【絵を描く】
滅びゆくものの美
加藤貞雄(山王町/上平形出身)

20年余り前のことである。高寺集落から松ケ岡集落へ通じる田んぼ道がある。そこからかなり離れた所に一軒家が見えた。

近づいてみると、中に人が住んでいる気配がない。家の周りは板で囲まれ、腰板が所々抜け落ちて暗い穴となっていた。窓ガラスは破れて様々な物が散乱しているのが見えた。屋根は赤錆びたトタンで覆われてその張り出しは崩れ落ちていた。その傾きかけた空気が、どんな人が住んでいただろうか、などと思いをめぐらせながらスケッチをした。

今年の秋、再びその家の様子を見に行った。家は伸び放題の雑草で覆われ、窓や屋根も蔓の枝葉で絡まれ見る影も無い有様。20年余の歳月で文字通り廃屋と化していた。だが、それはそれで心が惹きつけられて再び描きたい気持ち湧いてきた。ところで、かつてその空き家に住んでいた人たちのことを知っている方はいないかと、ずっと探していた。

今(平成30年10月)庄内柿の収穫期で、方々で柿もぎをしている姿を目にする。その一人の年輩の方にその事を尋ねてみた。なんとその空き家に住んでいた家族は自分の知人であると言った。奇遇だ。

この辺りは豪雪で冬の生活は非常に厳しい。その頃、子どもたちは学校まで3キロの道程を、親たちが作った雪道をこいで、吹雪に見舞われながら小学校に通ったという。

子どもたちの安全と将来のことを考えて引越したのだとのことであった。その子どもも今は30代で、社会で大いに活躍しているという。

滅びゆくものそれ自体にも美はある。生と死に関わる感覚で捉える美だろう。

しかしそれだけでは無いようだ。滅びゆくものの実態を掘り下げていくと、以外に明るい発見に出会えることがある。



H30.3 高等学校卒業生（1,463人）の進路状況

就職		進学		合計（就職+進学）	
560人（38.3%） （男355・女205）		891人（60.9%） （男368・女523）		1,451人（不明12人を除く） （男723・女728）	
県内（就職者の70.9%） 397人（男246・女151）		県内（進学者の20.1%） 179人（男66・女113）		県内（合計の39.4%） 576人（男312・女264）	
庄内（就職者の65.5%） 367人（男225・女142）		庄内 607人（男23・女37）		庄内（合計の29.2%） 427人（男248・女179）	
鶴岡市内 251人（男148・女103）		鶴岡市内 25人（男4・女21）		鶴岡市内（合計の18.9%） 276人（男152・女124）	
市外 116人（男77・女39）		市外 35人（男19・女16）		市外 151人（男96・女55）	
庄内以外 30人（男218・女9）		庄内以外 119人（男43・女76）		庄内以外 149人（男64・女85）	
県外（就職者の29.1%） 163人（男109・女54）		県内（進学の79.9%） 712人（男302・女410）		県外（合計の59.8%） 875人（男411・女464）	
隣県 34人（男23・女11）		隣県 349人（男147・女202）		隣県（合計の26.2%） 383人（男170・女213）	
首都圏 117人（男77・女40）		首都圏 266人（男115・女151）		首都圏（合計の26.2%） 383人（男192・女191）	
その他 12人（男9・女3）		その他 97人（男40・女57）		その他 109人（男49・女60）	

今春の卒業生の進路状況 女性の定着少なさが課題

鶴岡市内の高校卒業生1463人の今春の進路状況は、進学が891人で6割、就職が560人で4割でした。進学では県内が2割で県外が8割。県外のうち宮城など、首都圏より隣県が多くなっています。

進学では県内、県外とも女の割合が多く、女性の多くが進学で地元を出て行きます。就職では県内が7割、県外が3割です。

県内のうち庄内は367人で、就職者560人の65.5%が地元で就職しています。鶴岡市内は251人、市外は116人、庄内以外30人です。

女性型の職場が少ないという中で中央工業団地が整備されましたが、今では女性型の職場が少なくなっているのでは？

女性の定着が少ないことが、昨年度の出生数735人への落ち込みに表れています。

しかし、就職の男女別では地元定着のうち男225人にに対し女142人で、女性の定着が少ないのが特徴です。かつて、鶴岡市は男

H30.3 鶴岡高専卒業生（174人）の進路状況

就職120人
鶴岡市内 17人
庄内 6人
県内 9人
県外 88人
進学50人

H30.3 山大農学部卒業生（191人）の進路状況

就職144人
鶴岡市内 0人
庄内 1人
県内 23人
県外 120人
進学35人

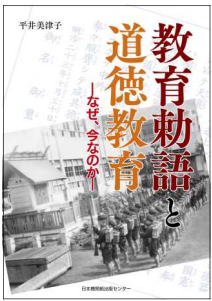
だまされては遺憾！ 柴山文科大臣の 教育勅語発言

青山 崇

に使うことができる分野は十分にある」と述べたのに対し、不当発言と言いたい。

教育勅語は、1890（明治23）年、明治

天皇の名で発布され、その根本原理は、「一旦緩急（いったんかんきゆう）あれば義勇公（ぎゆうこう）



10月2日就任した柴山昌彦文科大臣が、教育勅語について「現代風に解釈され、アレンジした形で、道徳など

ジシタ形で、道徳など



あんまりだぜ

来年の黄金週間は10日連続になるとの報道。嬉しい人だけではないでしょう。都都逸だが何だか知らないが、土方殺すにや刃物は要らぬ・雨の十日も降ればいい」と言うくだりは知っている。早い話が一カ月の3分の1が休みなのだ。唄の土方のことではないにしろ、日給月給で働かせられている人たちは、その分お金が入ってこないのだぜ。ましてや労働法制をブツ壊して正職員から非正規への時代賃金を悪くされている実態がある。オマンマに困る人が出てくるのではなからうかと心配だ。まだまだ世間には色んな困る事があると思うが、ベロツと続くより中ぬけの方が、種々思いを凝らす楽しみがあったように思う。

親には孝行、兄弟は仲良く、夫婦は睦まじく、友達を信じ合うなどの徳目は現在も通用し大切なものだというのである。

実は最初の決議案には、「部分的に真理」を認めていたのである。しかし論議の中で、教育勅語の枠から切り離して考えるときは真理性を認めるが、主権在民という枠の中にある以上、国会としては認めることができないという見解になったのである。

10日連続とはあんまりだぜ。

▲沖繩の新知事が首相に挨拶に行った。新基地造成に反対で当選したから会ったのだが、「2人の話は平行線だった」との報道には、民主主義が感じられない。防衛省は、基地造成のため国土交通省に不服申し立てをするとの事。おかしいでしょ。国が国に出すのだぜ。つまり進めたい首相が自分を出して自分が返事をするのだよ。こんなデタラメは許されないデシヨ。もともと行政不服審査法は、行政の決定にモンクがある場合、上級に審判をおくというもの。市や町の判断に異議があれば県が判断し、それでもと言う場合は国が判断するというもの。これも九条のように法律の読み方を変えての横暴。手前勝手の民主主義はあんまりだぜ。

（石川）